

式 辞

春風が心地よく、花吹雪が舞い、春深く木々の緑に心躍る今日の佳き日、保護者の皆さまをお迎えしまして、令和四年度第七十八回入学式を行うことができましたこと、心より厚くお礼申し上げます。

保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、誠におめでとうございます。たくましく成長されたお子様の姿に、お喜びもひとしおのことと存じます。

また、この度の感染症対策により、規模を縮小して実施いたしますことにご理解を賜り、ありがとうございます。

さて、百九十二名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは今日から大蔵中学校の生徒です。二年生、三年生や先生方は、皆さんが入学してくるのをとても楽しみにしていました。

大蔵中学校は、挨拶や返事がしっかりできます。勉強も運動も頑張っています。皆さんも、二年生、三年生のように、みんなと楽しく過ごしながら、心も体も頭も、ぐんぐん良くなつてほしいと思っています。そうなれるように、今から、皆さんに頑張つてほしいことを二つお話します。

まず一つ目は、中学校はできないことが出来るようになることです。自分の長所を伸ばしてください。個性があつていいのです。小学生の頃は素直に人のためになる事をやっていたと思いますが、中学生になると、めんどくさい、しんどい、どうしてしないといけないの、という思いが芽生えて来るかもしれません。でも、それを乗り越えて、人のためにする事がどんなに素晴らしい事かを知り、心より人のために行動できる人になつた時、素晴らしい人生が開けるのです。人のために何かをするには力が必要です。この人にこれをしてあげたいと思つても自分に力がないとできません。そのために勉強するのです。学ぶのです。いろいろな教科を学ぶのはその為です。テストは自分を知るためのものです。

二つ目は、自己中心にならず、周りの全ての方々に、思いやりの心やいたわりの心を持つて行動してください。人は、たくさんの方々の方々の支えのお陰で生かされているのです。家族に、友だちに、上級生に、先生方に、地域の方々に、支えられているのです。いつも、相手の立場に立つて物事を考え、発言して欲しいと思います。

少しづつでも努力を続けるたくましさを持つてください。これからの皆さんの活躍をとても期待しています。

さて、保護者の皆様、ご家族の皆様、本日は、お子様のご入学、心よりお喜び申し上げます。

中学校入学は、お子様にとつて大きな節目であります。少年少女から青年になるこの時期に、自己中心的にならず、これから必要となる社会性や自主心を身に着ける更なる一步を踏み出します。保護者の皆さまには、担任の先生や顧問の先生と十分連携をとつていただき、お子様が心身ともに健やかに成長されますよう、ご支援をお願いいたします。

本校は、昭和二十二年の開校以来、いつの時代も校區の皆様に温かく見守られ育てられました。そんな本校のよき校風と特色ある教育活動を継承・発展させながら、「生徒にとつて来て良かった学校」「保護者にとつて預けて良かった学校」となりますよう、全教職員一丸となつて、一人ひとりの良さを伸ばせるようにと考えておりますので、よろしくお願い致します。

結びにあたり、百九十二名の新入生全員が、今日から楽しい中学校生活を送つてくれることを心から願ひ一つ、式辞といたします。

令和四年四月十一日

明石市立大蔵中学校長 山脇 裕